



芝生にまつわるエトセトラ

台風一過、いつもよりちょっと涼しげに見える園庭。ここぞとばかりに、芝刈り機を起動させました。

いつも夕刻の、それもお隣の集合住宅の影が、園庭を覆い始める頃合いを狙うので、お迎えで行き合う家庭も、毎回、同じような家庭も多くなります。ちよと、玄関から出てきたG藤父さんが、「2週に1回くらいなんですわ。」と声を掛けてくれました。

芝生の元気な夏の時期は、本当は毎日が理想的なのです。少しでも葉っぱが刈られることで、その分、今度は根っこが頑張っって伸びて丈夫になり、地上の葉は、横へ横へ広がっっていくのです。

私の都合とお空の都合を合わせても、週一ペースはいけるはずなのに…。

そんな私の作業をじつと見つめている子、芝刈り機のエンジンに負けじと大声で、「園長先生〜」と声を掛けてくれる子。

た大工仕事を、まじかで見えいられる時間の「豊かさ」を大事にしたいと思うのです。

芝をカットすると同時に、その芝をプロペラの原理で吸い上げて、後方の袋に貯めていくという、とても賢い仕組みになっているのです。

以前、私が芝刈りをしている様子を見ていた出入りの大工さんが、「溜まった芝を、ゴミ袋に移していくことが大変なんだね。」と声を掛けてきました。

そうなのです。芝刈り機を押しして園庭をまわることなんて、なんてことはない作業なのですが、溜まった芝をその都度、ゴミ袋に移していく作業が結構な手間なのです。瞬時に大変さの本質を見抜く眼は、さすが職人さんだと感心したことを憶えています。

そういうえば、その大工さんに、「園長先生は変わってるねえ。」と言われたことがありました。他の園では、子どもが少ない時間や、子どもがいけない場所で作業してくれと言われるのだけれど、子どもたちに見えるようにやってってくれっって言われたのは、初めてだと言っつのです。

ギャラリーに気を使いながらの作業は、申し訳ないなと思っつつも、こういっ

その度にエンジンを止めていては、作業が進まないで、申し訳ないなと思っつ、手を振っって応えることで勘弁してもらっつのですが、たまたまエンジンが止まっつた瞬間、「何してるの?」と間髪入れずに問いかけられることがあります。

「芝生を刈っつている」と説明しながら、「刈る」という表現は、聞きなれないだろうなと思っつ…「切る」「短くする」…うん何か違う…だんだんと私の作業の様子と「刈る」が繋がっっていくのだから、根気よく「刈る」で説明をするこっつにしています。

田んぼの稲刈り、庭や空き地の草刈り…「刈る」を身近に見る機会も減っつてきた昨今。「頭を刈る」なんて表現は、もうじき通じなくなっつるのでしようか。

さて、芝をカットする芝刈り機の刃は、丁度プロペラのような形をしています。それが回転すること



無償化に伴っつ給食費について

先日、「広報はちおうじ8・15」に、3〜5歳児の保育料無償化の記事が掲載されまっつたのでご確認ください。

この無償化には給食費は含まれないことになりましたが、主食費については従前通り、八王子市からの独自補助が続くとの連絡がありました。よっつて、副食費のみの費用負担となっつるとのことです。

副食費については、園ごっつの食材料費に依っつて各保育園で決定することとされておっつりますが、国や八王子市から目安として提示されてる月額4500円を大きく逸脱しない金額、延長保育料と同様に、銀行引き落とっしによる納付を検討しておっつります。詳細が決定次第、ご連絡いたします。

- 編集 誠美保育園
- 発行人 折井誠司
- 印刷所 誠美保育園
- 発行所 社会福祉法人 誠美福祉会

〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-1-2  
 電話 042-675-1155  
 ファックス 042-677-5643  
 E-mail seibi@nokuen.jp  
 http://nokuen.jp/

園長 折井誠司